

冬の風物詩 「門干し」と陰陽師ゆかりの山を行く

木村英一郎 (RSK・OB)

JR岡山駅前の地下街から市内電車の乗り場へ行く通路の壁に、県下の観光地が紹介されている。その一つに浅口市鴨方地方の寒そうめんの門干しがある。一度見たいと思いい民クの川上氏に頼み農家を友達と訪れた。

晴天と水に恵まれた鴨方では明治の頃から盛んに作られてをり、朝の二時頃から粉を機械に入れて煉ったものを、箸を使って二メートル近くまで延ばしていき門干にする。あざやかな手つきに感心するばかりであった。

昼は地元の「田口うどん」で腹持えをして、天台宗の古刹明王院に立ち寄りその後平安時代の有名な陰陽師、阿倍清明が、天体観測のために居を構えたという言い伝えから「阿部山」と名付けられた山を目指した。この山は一八八センチ反射望遠鏡のある国立天文台岡山天体物理観測所の竹林寺山のすぐ西に位置する。

昭和十五年頃麓の桃や陸稲の土地不足解消の為に、約五十戸が入植したそうであるが今は石化金雀枝や黄金桧葉等の花卉栽培を続けている。

しかし戸数も半減し分教場も閉鎖されていた。山頂には顕彰碑、清明神社、観測跡がある。竹林寺山天文台の近くの阿部山で日本史上屈指の陰陽師が天体観測をしたという伝説が俄かに信憑性があるように思えてきた。

帰りに竹林寺山天文台と遥照山に案内して頂き眼下に広がる瀬戸内海を見て帰路についてとここで、阿倍清明の登場する作品を演じた役者は野村萬斎等多くいるが何と言っても昨年アイススケートのNHKフィギュアフリーで陰陽師の世界を完成させた羽生選手の演技に魅了された一人である。

索麵を干す太陽を眩しみつ 英一郎 平成二十七年十二月末



鴨方手延べそうめんの天日干し



陰陽師・阿倍清明神社 (屋敷跡)

(撮影 川上弘道)